

**障がい者千人雇用達成
記念フォーラム 開催**



7/9日

**14:30~16:00
市民会館**

障がい者千人雇用を達成したことを受けて、記念フォーラムを開催します。

当日は、加藤勝信一億総活躍担当大臣、橋本岳厚生労働副大臣をお招きし、シンポジウムなどを開催します。ぜひご来場ください。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎8269)

市では、平成23年4月から取り組んでいた「障がい者千人雇用」の目標である就労1000人を達成しました。事業を始めたきっかけは、平成20年に起こったリーマンショック。雇用で弱い立場にある障がい者を支援したいという思いと、倉敷市にある特別支援学校卒業後の就労は総社市が担うとの考えから実施に至りました。

1000人という目標値は、当時の18歳以上65歳未満の身体・知的・精神障がい者の数が約1200人だったことから定められ、「障がい者千人雇用」として事業を開始。市社会福祉協議会内に開設した「障がい者千人雇用センター」や市内の企業、事業所などが市内の就労継続支援A型事業所で行われ、1000人目となった就労者に記念品が贈られました。

5月29日には、千人雇用達成を記念したセレモニーが市内の就労継続支援A型事業所で行われ、1000人目となった就労者に記念品が贈られました。

これからも障がい者をはじめとする社会的弱者の支援を充実させ、全国屈指の福祉先駆都市を目指していきます。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎8269)



現在、市内には21の障がい者就労支援事業所があり、指導員とともにやりがいをもって働いている

千人雇用達成 (H29.5)

福祉的就労 426人

一般就労 577人

障がい者千人雇用これまでのあゆみ

市主催の「障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会」を初開催 (H24.1)

市主催で、ハローワーク総社、雇用開発協会、商工会議所とともに障がい者と企業の出会いの場となる「障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会」を初開催

障がい者千人雇用センターを設置 (H24.4)

マッチングと生活支援の拠点となる障がい者千人雇用センターを設置。ハローワーク総社から職員を派遣



600人突破 (H25.4)

700人突破 (H25.12)

800人突破 (H26.10)

就労移行支援金制度の創設 (H26.6)

福祉的就労から一般就労へ移行し、6か月以上経過した人に10万円を支給する独自施策を実施

セントラルロビーカフェ開始 (H26.5)

障がい者就労継続支援事業所で働く人の体験・就労への足がかりの場として、市役所中庭を開放。カレーライスやパン、クッキーなどの販売が行われている



500人突破 (H24.6)

500人雇用達成記念フォーラム (H24.8)

500人雇用達成を記念し、フォーラムを開催



総社商工会議所と包括協定を締結 (H23.10)

会員企業に対し、助成制度の周知やセミナー、雇用意向調査、福祉的事業所の見学などを開始

就労支援ルームの設置 (H23.7)

ハローワーク総社と「福祉から就労」支援事業協定を締結したことを受け、就労支援ルームを設置。市職員2人がハローワークに常駐



障がい者千人雇用委員会が発足 (H23.5)

障がい者関係団体をはじめとする代表者16人で障がい者千人雇用委員会が発足。会長は、社会福祉法人旭川荘名誉理事長の江草安彦さん



**障がい者雇用
1000人達成**